

○子守唄の里わくわくドラゴンハウス条例

平成2年10月5日

条例第22号

(設置)

第1条 親と子供が良好な環境のもとで、自然とふれあい、親しみながら休養と健康増進を図り、創造性豊かな子供の育成に資するため子守唄の里「わくわくドラゴンハウス」(以下「ドラゴンハウス」という。)を井原市高屋町1797番地11に設置する。

(職員)

第2条 ドラゴンハウスに館長その他必要な職員を置くことができる。

(入館料)

第3条 ドラゴンハウスに入館しようとするときは、別表に定める入館料を納入しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めたときは、これを免除することができる。

(入館の制限)

第4条 市長は、入館者が次の各号のいずれかに該当するときは、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 建物又は付属設備を破損するおそれがあると認められるとき。
- (3) 係員の指示に従わないとき。
- (4) その他市長がその使用を不相当と認めるとき。

(入館者の責務)

第5条 入館者は、ドラゴンハウスに入館するにあたっては十分な注意を払い、施設、設備、器具等を滅失し、又は破損したときは、これを原状に復し、又は損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、これを減免することができる。

2 ドラゴンハウスにおいて、次の各号に掲げる行為をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

- (1) 募金その他これに類する行為
- (2) 物品の販売、宣伝、広告その他これらに類する行為

(指定管理者による管理)

第6条 ドラゴンハウスの管理に関する業務のうち、次の各号に掲げるものについては、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、市長が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に行わせることができる。

- (1) ドラゴンハウスの入館者の管理に関する業務
- (2) ドラゴンハウスの施設及び設備の維持管理に関する業務
- (3) その他ドラゴンハウスの管理上、市長が必要と認める業務

(指定管理者の指定期間)

第7条 指定管理者の指定期間は、5年以内とする。

(指定管理者の権限)

第8条 指定管理者は、指定が効力を有する間、第3条及び第4条に掲げる市長の権限を指定管理者の名において行うものとする。この場合において、入館料は利用料金とみなし、指定管理者の収入とする。ただし、地方自治法第244条の2第11項の規定により、管理の業務の全部又は一部の停止を命ぜられた期間における当該停止を命ぜられた業務に係るものを除く。

2 前項の場合において、第3条及び第4条中「市長」とあるのは「指定管理者」とする。

(利用料金)

第9条 前条第1項の利用料金は、別表に掲げる入館料を基準額とし、当該額に0.5を乗じて得た額から当該額に1.5を乗じて得た額までの範囲内の額で指定管理者が定める。この場合において、同表中「金額」とあるのは「基準額」とする。

(指定管理者の指定の取消し等があった場合における入館料の取扱い)

第10条 入館者は、指定管理者の指定が取り消されたとき、又は管理の業務の全部の停止を命ぜられたときは、前条の規定により定められた額を入館料として市に納付しなければならない。

2 第3条の規定は、前項の入館料について準用する。

(指定管理者の責務)

第11条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は指定を取り消され、若しくは管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなった施設等を直ちに原状に復さなければならない。

2 指定管理者は、故意又は過失により施設等を滅失又は破損したときは、これを原状に復し、又はその損害を市に賠償しなければならない。

3 指定管理者が前2項の義務を履行しないときは、市長において原状に復し、これに要した費用を指定管理者から徴収する。

(委任)

第12条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、平成2年11月1日から施行する。

附 則 (平成8年3月26日条例第5号)

この条例は、平成8年4月1日から施行する。

附 則 (平成15年7月1日条例第20号)

この条例は、平成15年7月19日から施行する。

附 則 (平成17年9月27日条例第31号)

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

別表（第3条関係）

区分	単位	金額
個人	1人1回につき	100円
団体	〃	所定入館料の10%引

備考

- 1 3歳未満の幼児は、無料とする。
- 2 団体とは、20人以上の団体をいう。